



トラさんの
毒まんじゅう19号
(前編)

原作：ちばらぎMAX
絵：誰か描いて!!

昔むかし、西暦2019年という時代。世界にたくさんの国があって、その中に「ハンバーガー国」と「パンダ国」という二つの大きな国がありました。

ハンバーガー国のリーダーは「トラさん」、パンダ国のリーダーは「プーさん」と呼ばれていました。

ハンバーガー国には「お金持ちグループ」がいて、パンダ国に仲間がいます。

トラさんとプーさんは、仲良しではないですが、二人とも、自分の国のお金持ちグループの仲間に入れてもらえないという点では同じでした。

ハンバーガー国とパンダ国のお金持ちグループが、何やらたくらんでいます。

「最近、儲からないなあ。どうしよう？ そうだ！パンダ国で毒まんじゅうをつくって、世界中に配って人々の腹をこわす。それで皆が困ったら、毒まんじゅうの薬をつくって高く売る！ すっげー大儲けできるぞ！」

2019年の冬、パンダ国で「毒まんじゅう19号」がつくられ、それが世界中の「普通のまんじゅう」に混じって配られました。どちらも見た目はまんじゅうで、見分けはつきません。

2020年の春先、パンダ国、ハンバーガー国、そして他の
たくさんの国で、毒まんじゅう19号を食べてお腹をこわし
た人たちが出て、大騒ぎになりました。

その時、わかったことは、毒まんじゅう19号を食べて、お腹をこわす人もいれば、何ともない人もいるということです。

どちらかといえば、お年寄りがお腹をこわしやすいこと、若い人や子供は何ともないことが多いことも、分かってきました。

でも、お金持ちグループとしては、毒消しの薬をたくさん売りたいので、みんなが、毒まんじゅう19号を怖がってくれないと困ります。

そこで、3人の子分「テレビ」「ネット」「政治家」を使って、「毒まんじゅう19号こわいよ～、食べたら死ぬよ～」という宣伝を、散々やりました。

パンダ国のリーダー「プーさん」も、「毒まんじゅう19号はこわい。だから、まんじゅう買うの我慢しよう」と、人々に呼びかけました。

でも、ハンバーガー国のリーダー「トラさん」は、毒まんじゅう19号を怖がりませんでした。

ある日、トラさんは何かのはずみで、毒まんじゅう19号を食べてしまいました。

でも、わずか3日で治ってしまいました。彼は人々に「毒まんじゅう19号は怖くない」と言いはじめたのです。

これでは、毒消しの薬が売れませんね。さて困った。

お金持ちグループは、大儲けの夢を諦めきれません。そこで、3人の子分が再登場。

「テレビ」「ネット」「政治家」を使って、トラさんを一気に村八分にして、追い出そうとしたのです。

ハメられたトラさん、ピンチ。

でも、トラさんはそれで引き下がる男ではありませんでした。

(後編につづく...)